

令和5年度 第1回岩手県 I L C 推進本部会議

日時：令和5年5月15日(月) 庁議終了後

会場：第一応接室

1 開会

2 本部長挨拶

3 報告

(1) I L C 計画に係る動き…………… 1 ページ

(2) 令和4年度における取組実績…………… 2 ページ

4 議事

令和5年度における I L C 推進の具体的な取組内容…………… 11 ページ

5 その他

6 閉会

1 ILC計画に係る動き

〔2021年〕

- ・ ILC国際推進チーム（IDT）が「ILC準備研究所提案書^{※1}」を公表（6月）
- ・ 文部科学省が「ILCに関する有識者会議（第2期）」を開催（2022年1月まで全6回の会議を開催）

〔2022年〕

- ・ 有識者会議（第2期）が「国際リニアコライダー（ILC）計画の諸課題に関する議論のまとめ^{※2}」を公表（2月）
- ・ 高エネルギー加速器研究機構（KEK）が「有識者会議の結論を受けた ILC の進め方について^{※3}」を公表（2月）
- ・ 国際将来加速器委員会（ICFA）が「ヒッグスファクトリーの進展とILCに関するICFAステートメント^{※4}」を公表（4月）
- ・ IDTが国際有識者会議（IEP）を設置し、大型加速器建設をグローバルプロジェクトとして行う場合の「台本」を検討
- ・ IDTによる ILC テクノロジーネットワーク（ITN）の立ち上げに向けた調整
- ・ 岩手県南、宮城県北の市町等による「ILC 実現建設地域期成同盟会」設立（2023年2月）

〔今後、見込まれる動き〕

- ・ IEP が検討している「台本」について、各国政府関係者を招いて説明、議論
- ・ ITN を立ち上げ、国際協働による研究を開始
- ・ 米国P5が高エネルギー物理学諮問委員会（HEPAP）に報告書（今後10年の素粒子物理学研究の戦略計画）を提出（秋頃）
- ・ ICFA 会議における進捗の確認（2024年3月）

- ※1 **【ILC 準備研究所提案書】** ILC に係る技術的作業と政府間交渉を並行して進めるため、関係国の研究所が共同し、準備研究所を運営することを提案したもの。
- ※2 **【ILC 計画の諸課題に関する議論のまとめ】** 現時点では、提案された規模での ILC 準備研究所段階への移行は時期尚早。関係国の厳しい財政事情等も踏まえると、ILC 計画は再検討する時期。再検討の間、ILC 計画は準備研究所にこだわらず、立地問題を一旦切り離し、段階的に研究開発を展開すべきとしたもの。
- ※3 **【有識者会議の結論を受けた ILC の進め方】** ICFA での意見交換等を通してヒッグスファクトリー実現に向けての世界的な研究戦略再構築に関する検討を進める。ILC 国際推進チームと協力し、ILC 準備研究所に代わって当面必要な加速器の開発研究を行う枠組みにより共同研究を行うことを ICFA に提案する。共同研究を通して ILC を含めた次世代加速器の進展のために重要な技術開発等を図るとしたもの。
- ※4 **【ICFA ステートメント】** 「ILC 国際推進チームの枠組みにより、日本で ILC を更に進展させ実現させることを目指したグローバルな研究者コミュニティの活動の調整に引き続き取り組む。」「リソースの利用可能性と国際的な議論の進展を評価するため、今後一年間の進展を注意深く見守る」としたもの。

2 令和4年度における取組実績

1 ILC実現に向けた取組

(1) 国等への要望

ア 政府予算要望

6月16日 文部科学省（高橋はるみ 大臣政務官）、内閣府【科学技術政策】（小寺裕雄 大臣政務官）、
内閣府【地方創生】（宮路拓馬 大臣政務官）

11月11日 財務省（鈴木俊一 大臣）

■令和5年度政府予算等に関する提言・要望（11月11日）

《 要 望 事 項 》

国際リニアコライダー（ILC）の実現

ILCの実現に向けて、次の事項について要望します。

- 1 国際協力による加速器の研究開発費等の予算を確実に確保すること
- 2 関係省庁横断による連携を強化し、国家的プロジェクトとして政府全体で推進すること
- 3 日本政府が主導し、国際的な議論を更に推進すること

イ 全国知事会 国の施策並びに予算に関する提案・要望

7月「地域における科学技術の振興について」

ウ 北海道東北地方知事会 定期提言

8月、11月「国際リニアコライダーの実現について」



11/11 財務省 鈴木俊一大臣への要望

(2) 研究者の取組への支援

東北ILC事業推進センターにおいて研究者が行う取組を支援

【令和4年度東北ILC事業推進センターの取組実績】

- 地形・地質調査、施設配備
土地利用、景観や自然等の地域社会への影響に配慮した施設配置案の取りまとめ
- 物流、組立拠点等の研究
大型機器の輸送課題の対応の経済性等を踏まえた機器の製造工程の見直し、分割輸送・現地組立を行う代替案の可能性の調査、比較検討等
- まちづくり、受入環境整備
産学官の共同研究によるILC誘致を契機にした「まちづくりのモデルケース」の策定
- 加速器関連産業の振興
地元企業の加速器関連産業への参入を目指し、今後の本格的な研究開発の可能性等について調査検討
- グリーンILC
ILC建設地域全体のカーボンニュートラルの達成を目指したグリーンILCの概念を展開するための取組



地形・地質調査



大型機器輸送の事例調査（風力発電）



グリーンILCリーフレット

(3) 国民・県民理解の増進

ア 普及啓発の推進

(ア) 講演会（一般対象）の開催

- ・ ILC講演会～平泉黄金文化からILCへ～の開催（7月）参加者数80名
- ・ ILC講演会の開催（1月）参加者数316名（会場144名、オンライン172名）
（岩手県国際リニアコライダー推進協議会と共催）

※ 各講演は、後日、オンラインによる録画配信を実施

(イ) 地域住民を対象とした説明会等の実施

東北ILC事業推進センターと連携し、ILC解説セミナーを開催

2月 大船渡市（61名）、一関市（35名）、気仙沼市（60名）

(ウ) 岩手ILC連携室・オープンラボの公開

来場者：9団体、151名（県内事業者、県内外中学校 等）

(エ) 県内商工関係団体機関紙等による情報発信

岩手県国際リニアコライダー推進協議会と連携し、6団体の機関紙等に

「ILC current topics」として掲載する情報を提供

- | | |
|----------------|----------------|
| ・ 盛岡商工会議所 | 12回（毎月3,700部） |
| ・ 岩手経済同友会 | 同上（毎月500部） |
| ・ 岩手県中小企業団体中央会 | 同上（毎月900部） |
| ・ 岩手県経営者協会 | 同上（毎月450部） |
| ・ いわて産業振興センター | 6回（隔月1,000部） |
| ・ 岩手県商工会連合会 | 4回（4半期11,600部） |



ILC 講演会（1月）
（ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング）



オープンラボ見学

イ イベントへの出展等によるPR

(ア) イベントへの出展（県内8イベント、県外6イベント）

- 4月 ニコニコ超会議2022（千葉県）
- 6月 千葉ロッテマリーンズ公式戦（千葉県）
- 7月 いわてまるごと科学・情報館、県水産技術センター一般公開（釜石市）
- 8月 SF大会（福島県）、いわてグルージャ盛岡公式戦（盛岡市）
- 9月 釜石シーウェイブスRFC公式戦（釜石市）
日本スポーツマスターズ2022岩手大会（盛岡市）
- 11月 サイエンスアゴラ2022（東京都）、岩手ビッグブルズ公式戦（盛岡市）
- 12月 いわてまるごと科学・情報館（滝沢市）、VACUUM2022真空展（東京都）
- 2月 いわて八幡平白銀国体（八幡平市）
- 3月 岩手わかすフェス（東京都）

(イ) 企画展示【県南広域振興局】

国立天文台水沢と連携し、図書館における企画展示を県南地域7市町9会場で実施
展示会場において、次の関連イベントを実施

〔関連イベント（小学生向けワークショップ）の開催〕

- 10月 「太陽系のわくせいを作ろう」（一関市）（15名）
- 12月 「つくろう！きらきら『銀河のオーナメント』」（遠野市）（21名）

(ウ) 盛岡駅前歓迎塔への看板掲出【盛岡広域振興局】

盛岡の玄関口である盛岡駅前に看板を掲出し、来県者及び市民へのPRを実施

ウ 国内外に向けた情報発信

SNSによる岩手の食や観光等の情報発信

- 【海外向け】 THE KITAKAMI TIMES Twitter「Iwate & the ILC」
- 【国内向け】 Twitter「岩手&ILC」 Facebook「岩手&ILC」



VACUUM2022 真空展（東京ビッグサイト）



盛岡駅前看板掲出



THE KITAKAMI TIMES 掲載記事（2023年2月）

「盛岡市を散策しよう！」
盛岡市はニューヨーク・タイムズ紙に
認められた散策に最適な場所

2 ILCプロジェクトの推進

(1) 国際研究拠点の形成支援と研究開発を目指す人材の育成 (まちづくり・インフラ整備分科会、産業振興分科会)

ア 県内港湾を活用した機器輸送に係る広域的な計画の具体化

- (ア) ILC大型機器の輸送想定ルートに架かる県管理橋梁（6橋）の耐荷力を調査し、その結果を研究者に情報提供
- (イ) 東北ILC事業推進センターが実施する広域的な機器輸送計画等に関する研究者と関係自治体との意見交換に参加（2回）

イ ILCを契機とした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり

- (ア) 岩手大学、東北ILC事業推進センター、一般社団法人先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との共同による、ILC誘致を契機にした「まちづくりのモデルケース」策定を支援（居住、交通、エネルギー等の5例）
- (イ) KEKが実施する環境アセスメントに関する検討に参加し、庁内関係部局と情報を共有しながら取組を支援（7回）

ウ 県内企業の加速器関連産業への参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成 いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施し、加速器の最新技術や産業利用等、幅広く情報を提供（5回）

6月 ILCの動向、技術移転等（53名）、8月 放射光の利活用（54名）
10月 陽電子源の研究開発等（28名）、1月 生活への加速器応用等（50名）
3月 加速器と医療（68名）



大船渡港



県管理橋梁の耐荷力調査

(2) イノベーションの創出（産業振興分科会）

ア 県内企業の加速器関連産業への参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成（再掲）

いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施し、加速器の最新技術や産業利用等、幅広く情報を提供（5回）

6月 ILCの動向、技術移転等（53名）、8月 放射光の利活用（54名）
 10月 陽電子源の研究開発等（28名）、1月 生活への加速器応用等（50名）
 3月 加速器と医療（68名）

イ ILCに関連する技術・研究成果の産業化の支援

(ア) 専門知識を有する加速器コーディネーターを配置し、県内企業と研究機関・大手企業等とのマッチングを実施（KEKなどから4件の受注）

(イ) 次世代放射光関連等を受注した企業に対し、受注後の製造・据付までの継続した技術支援を実施

(ウ) いわて産業振興センターがILCの要素技術の一つである陽電子源に関する設計をKEKから受注し、KEKと共同開発を実施（令和3年度～）

(エ) 岩手ILC連携室・オープンラボに試作品評価用の装置やリモート会議設備等を整備（～令和5年度、繰越事業）

(オ) いわて加速器関連産業研究会を通じたエンジニアや設計者向けの技術支援を実施（チャレンジ部）（2回）

10月 加速器装置の設置方法等（4社7名）
 3月 陽電子源に関する実習等（3社4名）

(カ) ILCを核としたイノベーション創出拠点の形成に向け、岩手医科大学・岩手大学・岩手県立大学・いわて産業振興センターと連携し、各大学の研究テーマ等を取り上げた技術セミナーを共同開催



技術セミナー



チャレンジ部
 （岩手 ILC 連携室・オープンラボ）

(3) ILCによるエコ社会の実現（グリーンILC分科会）

ア ILC関連施設への県産木材の活用の検討等

ドローンによるレーザー測量データから森林資源を解析し、ILC地上関連施設等への県産木材の利活用方策の検討や、解析結果等を基にした候補地地域の森林のCO₂吸収量の算定手法等の検討を実施

イ 排熱利用などのグリーンILCの展開と県民理解の促進

(ア) カーボンニュートラルに資する取組を実施している企業等を調査（2回）

10月 持続可能な森林資源活用等に取り組む西粟倉村役場や木材加工企業
（岡山県西粟倉村）

11月 循環型林業等に取り組む製材・集成材工場（住田町）

(イ) 「吸着材蓄熱システム ハスクレイ」による排熱のオフライン輸送のフィールド実験
（温泉の排熱を輸送し、イチゴハウスでの栽培に利用）を実施（令和3年度～）

(ウ) 第19回日本加速器学会年会において論文発表（2件）（10月、オンライン開催）

- ・ 「ILC候補地域における林産業の活性化とカーボンニュートラルに関する研究」
（アジア航測株、岩手県、岩手大学）
- ・ 「吸着式蓄熱材を用いた大型加速器からの排熱利用に関する研究(3)～放熱装置・蓄熱装置の改良～（東日本機電開発株、産業技術総合研究所、高砂熱学工業株、株WING、岩手県、岩手大学）

(エ) グリーンILCについて広く周知を図るとともに、グリーンILCの実現に向け、研究者や自治体との連携を深めるため、グリーンILCセミナーを開催（2回）

9月 「森林資源によるCO₂回収及び林産業の振興」 参加者数：145名

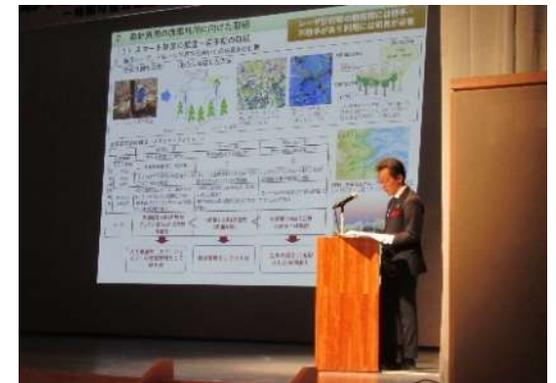
2月 「持続可能な林業モデルから考えるグリーンILC」 参加者数：62名

※ 各講演は、後日、オンラインによる録画配信を実施

(オ) 東北ILC事業推進センターと連携し、グリーンILC啓発用リーフレットを作成



ハスクレイによる温泉の
排熱利用のフィールド実験



第10回グリーンILCセミナー

(4) 外国人研究者等の受入環境整備（外国人居住環境分科会、外国人研究者等の医療分科会、教育分科会）

ア 外国人研究者等の生活環境整備

関係自治体と連携した海外研究者の生活支援を行う国際支援オフィスの在り方の検討に向け、外国人研究者等の受入の窓口に関する調査等を実施

- 12月 医療通訳者養成研修会開催（参加者11名）【県南広域振興局】
 1月 KEKやつくば市における外国人受入れに関する事例調査を実施し、行政手続、保育等におけるサポート体制等の課題を整理（下記イとも関連）



医療通訳者養成研修会

イ 外国人子弟の教育受入

(ア) ILC計画の進展に対応した受入準備工程の検討に向け、受入れ状況等に関する事例調査を実施（2回）

- 12月 英語イマージョン教育（愛知県豊橋市立八町小学校）
 国際学級（東京都港区立東町小学校）

- (イ) 既存校における受入れ課題について、関係部局との意見交換（4回）、関係市との意見交換（1回）を実施
 (ウ) 岩手県教育委員会において、「帰国・外国人児童生徒等教育関係者研修会」の開催のほか、「外国人児童生徒等教育推進体制モデル指定研究」を実施



八町小学校の授業の様子

(5) 交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上（地域資源活用分科会、教育分科会）

ア 海外に向けた情報発信強化

SNSやホームページによる岩手の食や観光等の情報発信（再掲）

【海外向け】 THE KITAKAMI TIMES Twitter「Iwate & the ILC」

【国内向け】 Twitter「岩手&ILC」 Facebook「岩手&ILC」

イ 機運醸成・理解促進

(ア) ILC講演会～平泉黄金文化からILCへ～の開催（7月）参加者数80名（再掲）

(イ) 奥州市及び水沢鋳物工業協同組合と連携し、市特産品の南部鉄器を使用したPRグッズ（南部鉄器の風鈴）を作成。Iwate Collider School 2023等において配布。

ウ 高校生を対象としたILCに関連する分野で活躍する人材育成

(ア) 県内の高校生・高専生を対象とし、次の取組を実施

- ・ ILCを契機に、科学に対する興味・関心の喚起・深化を図るため、科学講演会をオンライン開催し、10校に配信（6月）
- ・ 「いわての高校生サイエンス&エンジニアリングチャレンジ・コンテスト」を開催し、3校11チームが参加（12月）。優勝チームによる先端研究施設派遣研修を実施（3月）
- ・ ILC実現による地域の変化に対する興味・関心の喚起・深化を図るため、探究成果オンライン発表会を開催し、3校8チームが参加（3月）

(イ) 小中学生を対象とした人材育成の取組【盛岡広域振興局、県南広域振興局と連携】
県内の小中学校において出前授業を実施（6校）



ILC講演会



南部鉄器の風鈴

【表】 【裏】

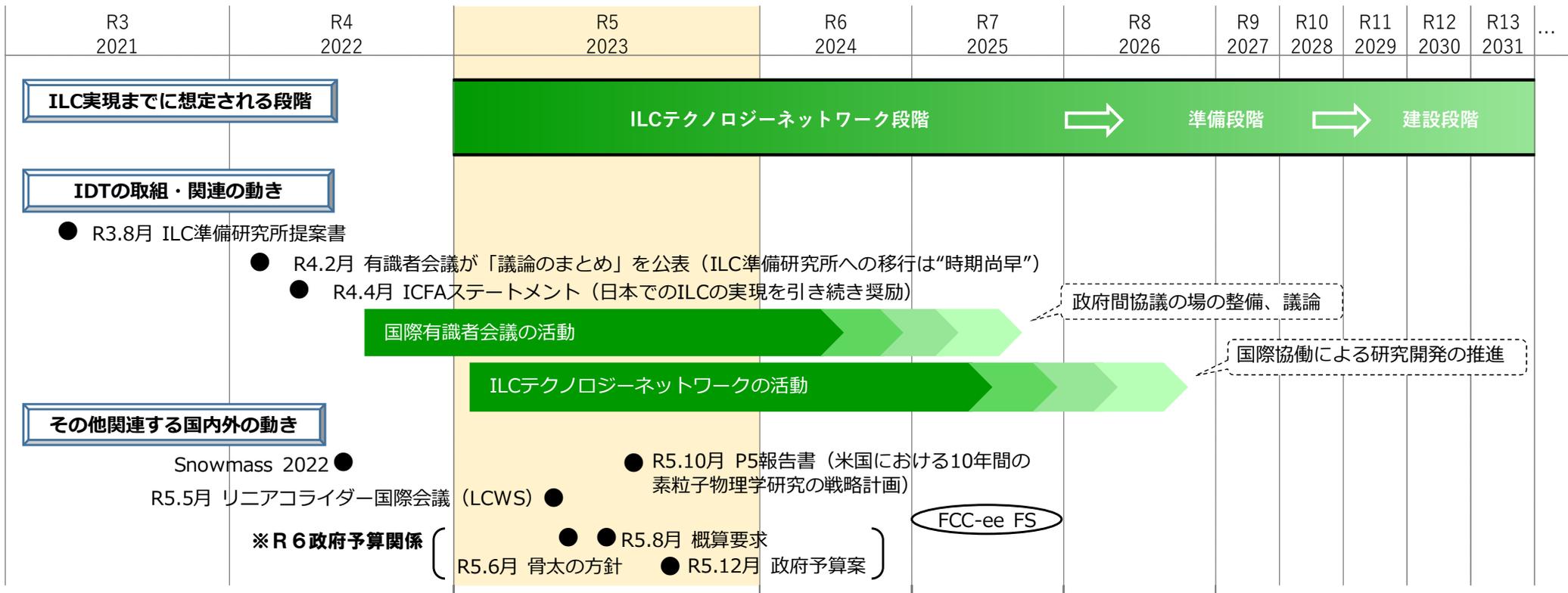


チャレンジ・コンテスト
(アイーナ)

3 令和5年度におけるILC推進の具体的な取組内容

(1) 基本方針

- ILCの実現に向け、県内外の推進団体等とともに国民的な機運醸成を図りながら、日本政府主導による国際的な議論が進むよう、国に対し働きかけを行う。
- 「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる「ILCプロジェクト」を推進し、ILC誘致を契機とした産業振興やまちづくりなど、ILCの実現効果を高めるよう受入準備を促進する。



【実現に向けた県の取組】

- 国への働きかけ
- 研究者の取組支援
- 国民的な機運醸成

働きかけの内容

- 1 国際協働による加速器の研究開発や政府間協議に資する予算措置
- 2 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけた政府全体での誘致推進
- 3 日本政府が主導しての国際的な議論の推進

■令和5年度想定スケジュール

| | 6月 | ... | 8月 | ... | 12月 |
|------|--------|-----|------|-----|---------|
| 国の動き | 骨太の方針 | | 概算要求 | | 政府予算案決定 |
| 県の取組 | 政府予算要望 | | | | |

(2) ILC実現に向けた取組

| 現状と課題 | 令和5年度の取組の方向性 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年6月のIDTによる「ILC 準備研究所 提案書」の公表等を受けて文部科学省が7月に再開したILCに関する有識者会議（第2期）が令和4年2月に「議論のまとめ」を公表 ○ 令和4年4月、ICFAは日本でのILCの実現を引き続き奨励するステートメントを公表 ○ 現在、研究者コミュニティにおいては、ICFAの承認の下、IDTが国際協働による研究開発や政府間協議に向けた取組を推進 ○ コロナ禍に伴う行動制限が解除され、県内外のILC推進団体等によって、講演会などの多様な活動が再開 ○ 令和5年2月、関係市町の長等により「ILC 実現建設地域期成同盟会」が設立。4月に超党派国会議連の総会で役員が決定 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際協働による加速器の研究開発や政府間協議に資する予算措置 ○ 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけた政府全体での誘致推進 ○ 日本政府が主導しての国際的な議論の推進 ○ 建設候補地として必要な受入環境の整備 ○ 国民的な機運の醸成 | <p>令和5年度の取組の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国等への働きかけ ILCの実現によるイノベーションの創出と産業の発展、新たな地方創生と東日本大震災津波からの創造的復興などの多様な価値を県内外の推進団体と共有し、全国知事会等とも連携しながら、国や政府与党に対する働きかけを実施 【要望項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際協働による加速器の研究開発や政府間協議に資する予算措置 ・ 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけた政府全体での誘致推進 ・ 日本政府が主導しての国際的な議論を推進 ○ 研究者の取組への支援 東北ILC事業推進センター事業として研究者が推進する取組を支援し、ILC受入に必要な環境の整備を推進。特に令和5年度は、4年度に策定した「まちづくりのモデルケース」を活用し、関係自治体にILC誘致を契機とした魅力あるまちづくりを促す取組を実施 【東北 ILC 事業推進センター令和5年度事業（予定）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形・地質調査、施設配置 ・ 物流、組立拠点等の研究 ・ まちづくり、受入環境整備 ・ 地域住民の理解促進活動 ・ 加速器関連産業の振興方策 ・ グリーン I L C など ○ 国民的な機運の醸成 ILCの有する意義や価値を広く発信する講演会やイベント等を、県内外の推進団体とともに実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及啓発の推進（講演会・研修会等の開催） ・ 地域住民を対象とした説明会等の実施（解説セミナーの開催） ・ イベント等への出展によるPR（全国植樹祭、真空展2023ほか） ・ 国内外に向けた情報発信（Twitter、THE KITAKAMI TIMES等） |

(3) ILC プロジェクトの推進

- ILCの実現及び ILC の多様な効果の地域への波及に向け、いわて県民計画（2019～2028）に掲げる ILC プロジェクトを全庁挙げて推進するため、岩手県 ILC 推進本部を設置し、部局横断の取組を推進
- ILC プロジェクトを推進する方向を示す戦略として策定した「ILC による地域振興ビジョン」に基づき、受入準備、関連産業の振興や人材育成等の取組を推進

① 国際研究拠点の形成支援と研究開発を目指す人材の育成

[まちづくり・インフラ整備分科会、産業振興分科会] ふる・環境・商工・県土・盛岡局・県南局・県警・ILC

| 現状と課題 | 令和5年度の具体的取組内容 | 主な関連事業名 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官の共同研究による「まちづくりのモデルケース」策定 ・加速器関連産業技術者の育成 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町における ILC を契機としたまちづくりへの支援 ・ILC に関わる幅広い分野で活躍できる人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 県内港湾を活用した機器輸送に係る広域的な計画等の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡港の活用を見据え、これまでに調査・検討した機器輸送ルートや、輸送に係る課題・対策など、広域的な機器輸送計画の策定に資する情報を整理 [東北 ILC 事業推進センターが行う事業の支援] ➤ ILC 誘致を契機にした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・岩手大学、東北 ILC 事業推進センター、AAA との共同研究により策定した「まちづくりのモデルケース」を、市町への説明会、セミナーの開催等を通じて建設候補地周辺自治体に展開 [東北 ILC 事業推進センターが行う事業の支援] ・研究者等による環境影響評価の実施に向けた意見交換等を継続 ➤ 加速器関連産業など県内企業の技術力向上への支援を強化 <ul style="list-style-type: none"> ・いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施 | <p>ILC 推進事業費 (ILC)</p> <p>同上</p> <p>同上</p> |

② イノベーションの創出 [産業振興分科会] ふる・商工・盛岡局・県南局・ILC

| 現状と課題 | 令和5年度の具体的取組内容 | 主な関連事業名 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の加速器関連産業への参入に向けた商談取引支援 産学が連携した共同研究の実施等について意見交換 企業技術者を対象とした技術支援 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業集積に向けた取組 県内ものづくり企業の参入と受注につながるオープンイノベーションネットワークの構築 加速器関連先端技術を担う専門人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 企業の技術力向上支援及び加速器関連産業への参入支援を強化 <ul style="list-style-type: none"> いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施（再掲） 専門知識のある加速器コーディネーターを配置し、企業訪問や研究機関等とのマッチングを実施 ➤ いわて加速器関連産業研究会を軸にした、大学、公設試験研究機関等との連携を強化 ➤ 加速器関連産業など県内企業の技術力向上への支援を強化 <ul style="list-style-type: none"> 大手企業や研究機関との受注促進に向けた講習会を開催 岩手 ILC 連携室・オープンラボに整備する機器を活用し、研究者と企業の共同開発、技術者や設計者向けの技術指導、国内外研究者との交流等を実施 | <p>ILC 推進事業費(ILC)</p> <p>同上</p> |

③ グリーン ILC（環境、エネルギー）によるエコ社会の実現 [グリーン ILC 分科会] 環境・農水・県土・県南局・ILC

| 現状と課題 | 令和5年度の具体的取組内容 | 主な関連事業名 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ILC のエネルギー利活用に向けた、「吸着材蓄熱システム ハスクレイ」による熱輸送システムの実証実験 カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能な森林資源の活用方法の研究 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ILC におけるエネルギー利用を地域経済の活性化や環境への配慮等につなげる方策の検討 グリーン ILC の理念・取組の普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 熱輸送システムの実用化に向けた共同研究を推進 <ul style="list-style-type: none"> 「吸着材蓄熱システム ハスクレイ」による排熱輸送の産業化を見据え、ハスクレイの価格の低廉化に向けた検討を実施 ➤ グリーン ILC の普及啓発や、カーボンニュートラルの実現に向けた森林資源の活用及び CO2 吸収量の把握に係る共同研究を推進 <ul style="list-style-type: none"> グリーン ILC セミナーの開催等による普及啓発、グリーン ILC 啓発用リーフレットを活用した P R を実施 ILC 建設候補地地域の森林の CO2 吸収量の算定手法等について検討 | <p>ILC 推進事業費(ILC)</p> <p>同上</p> |

④ 国際性豊かで便利な暮らしやすいコミュニティの形成 [居住環境、医療、教育分科会] 政企・ふる・保福・県南局・医療局・教委・ILC

| 現状と課題 | 令和5年度の具体的取組内容 | 主な関連事業名 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外研究者等の生活支援のための国際支援オフィスと関係自治体との連携体制の構築検討 海外研究者子弟の既存校等での受入れ検討 海外研究者等の医療に関する支援の取りまとめ及び課題の整理・検討 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外研究者・家族及び地域住民が暮らしやすい社会の実現と多文化共生コミュニティの形成 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 海外研究者の生活支援のための行政手続等、具体的支援内容を検討 <ul style="list-style-type: none"> 関係自治体と連携した海外研究者の生活支援を行う国際支援オフィスの在り方について検討 多文化共生を担う人材育成や地域づくりに向けたセミナー等の実施 県民を対象とした多様な文化への理解促進などを目的とした研修会等の開催 ➤ 外国人児童生徒の受入れに関する検討及び受入態勢整備を促進 <ul style="list-style-type: none"> 外国人研究者等の子弟の教育に必要な教員等の人材の確保・育成等に関する検討 ➤ 海外研究者等が医療機関受診の際に必要なとする具体的支援について、関係団体と検討 <ul style="list-style-type: none"> 外国人を対象とした医療相談会への支援等の実施 | <p>ILC 推進事業費 (ILC)</p> <p>地域多文化共生推進費(ふるさと)</p> <p>地域経営推進費 (沿岸局)</p> <p>ILC 推進事業費 (ILC)</p> <p>地域多文化共生推進費(ふるさと)</p> |

⑤ ILC を活用した交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上 [地域資源活用、教育分科会] ふる・農水・商工・県南局・教委・ILC

| 現状と課題 | 令和5年度の具体的取組内容 | 主な関連事業名 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ILC 関連情報や県内の食・観光情報の海外向け発信 小中学校での出前授業、高校生を対象とした講演会等を通じた科学への関心の喚起 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外向け情報発信の強化 科学に興味を持つ児童生徒の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 海外向け情報発信 <ul style="list-style-type: none"> THE KITAKAMI TIMES や SNS による、ILC に関する情報及び岩手の魅力（食や観光、岩手での生活）の発信 ➤ 機運醸成、理解増進 <ul style="list-style-type: none"> ILC 講演会の開催 岩手 ILC 連携室・オープンラボ見学受入 ➤ 県内の小中学生・高校生を対象に、ILC を含む科学への関心を喚起する取組を強化 <ul style="list-style-type: none"> 高校生・高専生を対象とした科学講演会、小中学生を対象とした出前授業の実施 科学・工学コンテスト、探究成果オンライン発表会の開催 ILC に関係する専門家などの派遣を実施 理数系人材等の輩出を加速するため、探究的な学習を STEAM の視点から深める取組を推進 | <p>ILC 推進事業費 (ILC)</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>地域経営推進費 (盛岡局、県南局)</p> <p>探究・STEAM 教育推進事業費(教委)</p> |